第２回 黒部駅西側出口整備等利便性向上基本構想推進協議会

全体議事録

１開会

２挨拶

・長尾会長

３協議事項

・事務局より協議第２号「黒部駅西側出口整備等利便性向上基本構想に係る事業計画及び進捗管理等」について説明

【以下、質疑応答】

委員　　１点目、教育啓発特定事業は、具体例をあげて記載したほうがよい。例えば、村椿小学校の福祉体験などと連携した事業ができればよいと思う。また、運輸局では社会福祉協議会と連携して心のバリアフリー講座を開いており、お手伝いできることもあると思う。２点目、別紙の信号の設置は、交通安全特定事業として設定できないか。特定事業に位置づけるためには、関係者との協議が必要とも思うがどうか。３点目、次回以降になると思うが、基本構想作成にあたっては、写真等を掲載いただくと分かりやすい。

事務局　　１点目の具体例については、今後具体的に検討して記載したい。２点目の信号機については必要性も含めて検討したい。３点目の基本構想作成に当たっては、写真を掲載予定である。

会長　　高齢者のグループ等とできるだけ連携して啓蒙を図った方が効率もよく、伝わりやすいので、検討をお願いしたい。信号機については協議に時間がかかると思うので、関係者と協議し、できるだけ前向きに検討してほしい。写真については、分かりやすさという観点からもイメージがわくように掲載したほうがよい。

委員　　１点目、用語定義について、駅西側といっているが、駅東側について駅前という用語が使われているため、統一したほうがよい。２点目、現在の駅舎から出たときに一番近い道路の管理者はどこか。３点目、公共交通特定事業に係る事業費はどの程度を見込んでいるのか。４点目、国からの支援が不可欠とあるが、現在、補助金等の申請などはどの段階にあるのか。

事務局　　１点目、用語については今後表現を検討したい。２点目、現在の駅舎から出た時に一番近い道路（広場）は黒部市が管理している。なお、市道認定はしていない。３点目、現在は整備方法を検討している段階であり、事業費は具体的にお伝えできないものの、かなりかかるという認識をしている。４点目、補助金等については、整備内容が未決であるため、今後整備内容が定まった後に検討する予定である。

委員　　大枠でもよいので事業費を確認したかった。

事務局　　整備内容が未決であることや、今後の物価上昇などを考慮すると、現段階での概算事業費の提示は難しいと考えている。

会長　　具体の事業として考えた場合、計画検討や概算事業費の算出は必要。ある程度の金額感を掴んでおかないと、10 年間という計画期間の中で、十分にＰＤＣＡを回せないと思う。事業を具体化していく中で、変更が出るのは仕方がないと割り切って、概算事業費を試算していく必要があるのではないかと思うがどうか。

事務局　　関係機関との協議に時間を要するため、次回協議会までに試算を出せるかは分からないが、検討する。

委員　　別紙にて、黒部駅における令和５年 11 月～令和６年 10 月までの１年間の車椅子利用者等の利用状況が３９件と示されているが、少数の障がい者等のために、バリアフリー化に多額の事業費をかけてよいのか。

委員　　あいの風とやま鉄道として、障がい者だけでなく、高齢者などを含む多くの方に駅を利用していただくためにも、バリアフリー化は進めていくべきだと考えている。費用や安全の観点から実現できないこともあると思うが、黒部市と相談しながらバリアフリー化を進めていきたい。

事務局　　ホームの段差解消は費用の観点から実現が困難だが、エレベーター┈は障がい者だけでなく高齢者にとっても利便性向上につながる施設であり、事業として進めていきたいと考えている。

委員　　先日、駅を利用した際に、段差の注意喚起などの声かけをしてくれた方がいた。声かけや手を貸してくれるだけでもありがたいと思う。

事務局　　そのような、心のバリアフリーに関することも事業として推進していきたいと考えている。

委員　　心のバリアフリーに関する事業の具体的な事例を示すと分かりやすいと思う。パンフレット等でも見せ方を工夫してほしい。

委員　　あいの風とやま鉄道で、最近エレベーターができた駅はどこか。

委員　　一昨年に滑川市滑川駅にエレベーター２基が設置されている。高岡市福岡駅は近く完成を予定しており、射水市越中大門駅が来年度着工を予定している。

↓協議会後、委員より補足説明あり

滑川駅のエレベーター┈整備にかかった事業費は、2 基で約 4.2 億円であった。

委員　　黒部駅における令和５年 11 月～令和６年 10 月までの１年間の車椅子利用者等の利用状況が 39 件とのことだが、固定客が占める割合は分かるか。

委員　　手元資料がないため分からないが、一定の固定客はいるように思う。

委員　　計画期間は10年間とあるが、いつ駅舎や駅前広場等が整備されるのか。いつまでに何ができるのか、おおよそのプランを事務局として示していただきたい。

事務局　　事業費や事業スケジュールについては、現時点での回答は難しい。いずれも内部で検討を進めていきたい。

会長　　住民の皆さんも整備は５年先などと分かれば見当がつく。まちづくりの視点においても駅西側の整備がいつごろ行われるかは大きなウェイトを占める話だと思う。なかなか難しいとは思うが、関係部署と協議をして、大枠のスケジュールを示すことで住民に関心をもってもらえるようにしてほしい。

委員　　駅西側出口やバリアフリー通路、バリアフリートイレなどの施設配置計画が分からない。全体計画の中でどのような位置付けとなっているのか。

事務局　　バリアフリー基本構想の主題は、高齢者や障がい者等への配慮である。今後、バリアフリー基本構想の内容を踏まえて、具体の計画を進めていく。

委員　　健常者にとっても、駅西側出口ができると生活利便性が向上する。駅西側から駅東側へのアクセスは、現状地下道があるが、自転車での利用はほぼ不可能であり、高齢者にとっては階段がバリアとなっている。別の場での検討になるとは思うが、バリアフリー化と同時に駅西側出口の整備を検討していくことが大事だと思う。

委員　　駅西側施設の整備内容を今の段階で分かる範囲で教えてほしい。

事務局　　具体の整備内容は現時点では申し上げることはできないが、少なくとも駅前の交通広場については整備を検討している。

委員　　地下道で駅東側に自転車でいくことが困難であるため、駅西側にも駐輪場を整備してほしい。

会長　　現状の課題を整理して、どのような整備をするか検討した方がよい。

委員　　駅周辺整備事業は、第２次総合振興計画後期基本計画（以降、総合振興計画と称する）において重点事業に位置付けられている事業であり、計画期間が定められていたと思う。本基本構想において、総合振興計画はどのような位置付けとなっているのか。

事務局　　本基本構想は、総合振興計画を上位計画として位置付けており、総合振興計画に基づいて検討を進めている。

委員　　事業スケジュールは総合振興計画に記載があるとおりではないのか。

委員　　総合振興計画は令和５年度～令和９年度までの施策の方向性について定めるものである。一方、基本構想は令和７年度～令和16年度までを計画期間としており、総合振興計画とずれる部分があると思う。本協議会においてはバリアフリー化に係る計画に関する議論をしており、駅西側出口や東西通路の個別の計画については、黒部駅周辺全体のバリアフリー化に係る計画と切り離して考えるべきである。

事務局　　総合振興計画でも整備期間は定めておらず、「進める」としている。バリアフリー基本構想の計画期間である令和 16 年度末までには整備する予定である、とご理解いただきたい。

会長　　バリアフリーに係る内容については、更に推進してほしい。総合振興計画については市のホームページにも掲載されているので、時間のある時に確認していただきたい。

会長　　未知数の部分が多いが、各位が関心を持ち、具体的な内容にしていきたいという気持ちが強くなってきていると思う。上位計画には総合振興計画があり、それに基づいて具体的なプランを練って事業化していくと、大きな枠組みで理解していただきたいと思う。

会長　　原案について、検討の余地はあるものの、不備な点については事務局で検討いただくということで、原案どおり承認でよろしいか。

会長　　反対意見はないようであり、原案をよりよいものにするということを前提に承認とする。

４その他

・事務局より「令和６年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価案」について説明

【以下、質疑応答】

委員　　令和６年度末までにバリアフリー基本構想を策定する予定か。

事務局　　令和６年度末までに策定する予定である。

委員　　西側出口整備等も内容に盛り込まれるのか。

事務局　　黒部駅の基本計画策定とは切り離してお考えいただきたい。バリアフリー基本構想の内容を反映して、黒部駅の基本計画を策定するとお考えいただきたい。西側出口の施設整備については、別で事業が動いているが、しっかりと検討して、バリアフリー基本構想の内容を反映したいと思う。

会長　　バリアフリー実現に係る意見と、西側出口整備といったまちづくりに係る意見が出てきている。バリアフリー実現のために何をするべきか、意見を整理して仕分けをしてほしい。

５閉会

以上